

日韓における行為要求表現の運用に 関する対照研究

辻 岡 咲 子

1 はじめに

日本語と韓国語には、話題の人物に対する敬語（尊敬語・謙讓語）と聞き手に対する敬語（丁寧語）が体系的に整っている。また、授受動詞の補助動詞用法があり、恩恵的な行為のやり取りを表す表現体系が存在しており、両言語とも授受動詞を依頼表現に使用することが可能であるが、用いられる授受動詞に日韓で違いがある。日本語の依頼表現で用いられる授受動詞は、授与動詞「くれる（非敬語形）／くださる（敬語形）」と受納動詞「もらう（非敬語形）／いただく（敬語形）」である。一方で、韓国語の場合は、授与動詞「주다（非敬語形）／주시다（敬語形）」（くれる／くださる）は補助動詞用法が存在し、依頼表現に用いられるが、「もらう」に相当する「받다（非敬語形）」は補助動詞用法が存在しないため、依頼表現をつくることはできない。本稿では、数多くある授受動詞を用いた依頼表現が、日韓それぞれの若年層においてどのように使い分けられているのかに着目し、行為要求表現（命令・依頼表現）の運用の日韓比較を行う。

2 先行研究

2.1 日本語と韓国語の待遇表現

待遇表現とは、対人関係や場面差などに配慮して使い分ける表現のことである。いわゆる敬語は上向き待遇を表す専用形式であり、話題の人物への上向きの待遇意図を表す敬語を素材敬語といい、聞き手や発話の場面への配慮によって用いられる敬語を対者敬語という。日本語では、通常、素材敬語である尊敬語、謙讓語、対者敬語である丁寧語の3分類が行われるが、韓国語にはこれに対応するものとして주체높임법（主体敬語）、객체높임법（客体敬語）、청자높임법（対者敬語）がある（김태엽 1999）。

日本語に関しては日本語記述文法研究会編（2009）、韓国語に関しては김태엽（1999）をもとに、動詞「言う」に相当する日本語と韓国語の待遇語を整理すると表1のようになる。

表1 日本語と韓国語の動詞の待遇語（日本語記述文法研究会編 2009・김태엽 1999 をもとに作成）

	待遇相手	待遇の向き	日本語（言う）	韓国語（말하다）
素材待遇語	主語	上向き待遇（尊敬語）	おっしゃる	말씀하시다
		中立待遇	言う	말한다
		下向き待遇（卑罵語）	言いやがる	/
	目的語	上向き待遇（謙讓語）	申し上げる	말씀드린다
		中立待遇	言う	말한다
対者待遇語	聞き手	上向き待遇（丁寧語）	言います（丁寧体）	①말합니다（합쇼체） ②말해요（해요체）
		中立待遇	言う（普通体）	③말하오（하오체） ④말하게（하게체） ⑤말해（반말체） ⑥말해라（해라체）

※①～⑥は待遇レベルによる分類で、下へ行くほど敬意が低い。

日本語と韓国語の素材待遇語には、待遇相手が主語の場合と目的語の場合が存在する。日本語では待遇相手が主語である場合、待遇の向きは上向き待遇、中立待遇、下向き待遇があり、それぞれ「おっしゃる」（上向き待遇）、「言う」（中立待遇）、「言いやがる」（下向き待遇）のような待遇語が存在する。主語に対する上向き待遇語を尊敬語、下向き待遇語を卑罵語という。一方、韓国語の場合、主語に対する上向き待遇語と中立待遇語は存在するが、下向き待遇語に相当する動詞の待遇語は存在しない。待遇相手が目的語の場合は、日本語、韓国語ともに、上向き待遇語と中立待遇語がある。目的語に対する上向き待遇語を謙讓語という。

対者待遇語には、日本語、韓国語ともに、待遇相手である聞き手に対する上向き待遇語、中立待遇語がある。日本語の場合、上向き待遇の対者待遇語を丁寧語といい、「言います」のような丁寧語を用いた文体を丁寧体、「言う」のような中立待遇語を用いた文体を普通体という。韓国語の場合は、上向き待遇の対者待遇語として、①합쇼체、②해요체、③하오체、④하게체의4種類が存在し、中立待遇の対者待遇語として、⑤반말체、⑥해라체의2種類が存在する。この6種類の対者待遇語の使用対象を李翊燮・李相億・蔡ワン（2004）や韓・梅田（2009）を参考にまとめると

以下のようになる。

- ① 합쇼체：韓国語の対者敬語法の6等級のうち最も丁重に、最も恭しく遇する最上級の言葉遣いで、格式張った態度を表す。生徒・学生が先生に職場の下位者が上位者に、店員が顧客に、一般的に疎遠な間柄の年齢的・地位的下位者が上位者に対して用いる。
- ② 해요체：聞き手が自分より上位の人であったり、上位になくても丁重に遇すべき人であったりするときに使う言葉遣いとして、今日最も広く使われている等級である。同位や下位の人に対しては① 합쇼체가不適切になるため、この形式が使用される。
- ③ 하오체：成人間で自分より下の人に使うが、その下の人を丁重に遇しようとする格式性が現れる言葉遣いである。若い世代になればなるほど使用数は減っている。
- ④ 하계체：聞き手が話し手より年齢や社会的な地位が下の場合に使われる。話し手の権威を誇張するような感じがあり、格式が強いという特徴があるため、年齢を十分にとらなければ使用が気恥ずかしく感じられる。
- ⑤ 반말체：聞き手との距離を⑥ 해라체より若干多めにとり、いくらかでもその聞き手を慎重に遇する機能がある。相手との上下関係をはっきりつけにくい場合にぼかして言う時に使う。例えば大人が見知らぬ中学生（見かけが大きい）や、弟妹が姉姉に対して使う。
- ⑥ 해라체：この等級は気の置けない友達に、あるいは父母が子供に、あるいは年配の話し手が小学生や中学生程度の幼い子供を相手に使う等級である。

上記のように日本語の場合、上向き待遇と中立待遇の2種類の対者待遇語を使い分けるのに対して、韓国語の場合は6種類の対者待遇語の形式を使い分けているということになる。2.4で後述するが、これら6種類の対者待遇語の形式はそれぞれ命令・依頼の形式を作ることができる。

2.2 日本語と韓国語の行為要求表現

ここでは、日本語と韓国語の行為要求表現の形式について述べる。両言語とも命令の表現は動詞の活用形（命令形）で表される。韓国語の場合、① 합쇼体は「하십시오」、② 해요体は「하세요」、③ 하오体は「하오」、④ 하계体は「하계」、⑤ 반말体は「해」、⑥ 해라体は「해라」となる。

一方、依頼表現は授受動詞を用いた表現で表される。日本語と韓国語の授受動詞

を対照させると以下ようになる。

表2 日本語・韓国語の授受動詞 (井出・任 2001 をもとに作成)

授受動詞の種類	日本語	韓国語
授与動詞	くれる	주다
	くださる	주시다
	やる	주다
	あげる	
	さしあげる	드리다
受納動詞	もらう	받다
	いただく	/

表2のとおり、日本語の「くれる」「やる」「あげる」に相当する韓国語は「주다」のみである。また、日本語の受納動詞は、「もらう」とその謙讓語「いただく」の2つが存在するが、韓国語の場合は、非敬語形「받다」のみである。また、韓国語では授与動詞「주다」「주시다」「드리다」には補助動詞用法があるが、受納動詞「받다」には日本語の「(して) もらう」のような補助動詞用法がない。したがって、日本語に存在する「(して) もらえますか?」「(して) いただけますか?」のような受納動詞による依頼表現は、韓国語には存在しないということになり、「주다 (くれる)」「주시다 (くださる)」が一般的に使用される。①합쇼体は「해주십시오」、②해요体は「해주세요」、③하오体は「해주오」、④하계体は「해주계」、⑤반말体は「해줘」、⑥해라体は「해줘라」となる。

では、次に先行研究(宮地(1995)、山岡(2008)、岡本(1988)、山田(2004))にもとづき日本語の行為要求表現のバリエーションを整理する。分析の対象とする行為要求表現の待遇形式の組み合わせを、「(Ⅰ) 非敬語形・普通体」「(Ⅱ) 非敬語形・丁寧体」「(Ⅲ) 敬語形・丁寧体」に大別して整理したものが表3である。

各表現には便宜上、記号をつけているが、Kは授与動詞、Mは受納動詞を示している。各類別を形式面で分類する記号としては、命令形を0、「テ形」及び「肯定疑問類」は1、「否定疑問類」は2、「モラウ系許可求め類」を3としている。

表3 現代日本語の行為要求表現の分類

待遇形式の 組み合わせ	行為要求表現	類 別	記号
(Ⅰ) 非敬語形・ 普通体	しろ	活用形類 (命令形)	I 0
	して	活用形類 (テ形)	I 1
	してくれ	クレル系命令類 (クレ形)	I K0
	してくれる?	クレル系肯定疑問類	I K1
	してくれない?	クレル系否定疑問類	I K2
	してもらえる?	モラウ系肯定疑問類	I M1
	してもらえない?	モラウ系否定疑問類	I M2
	してもらって (も) いい?	モラウ系許可求め類	I M3
(Ⅱ) 非敬語形・ 丁寧体	してくれますか	クレル系肯定疑問類	Ⅱ K1
	くれませんか	クレル系否定疑問類	Ⅱ K2
	してもらえますか	モラウ系肯定疑問類	Ⅱ M1
	してもらえませんか	モラウ系否定疑問類	Ⅱ M1
	してもらって (も) いいですか	モラウ系許可求め類	Ⅱ M3
(Ⅲ) 敬語形・ 丁寧体	してください	クレル系命令類 (クダサイ形)	Ⅲ K0
	くださいますか	クレル系肯定疑問類	Ⅲ K1
	くださいませんか	クレル系否定疑問類	Ⅲ K2
	していただけますか	モラウ系肯定疑問類	Ⅲ M1
	していただけませんか	モラウ系否定疑問類	Ⅲ M2
	していただいて (も) いいですか	モラウ系許可求め類	Ⅲ M3

次に韓国語の場合を見ていく。荻野・金・梅田・羅・盧 (1990) を参考に韓国語の行為要求表現を整理すると表4のようになる (荻野・金・梅田・羅・盧 (1990) では扱っていないが命令・依頼表現として構成が可能なものもあげている)。荻野・金・梅田・羅・盧 (1990) では、5つの文末語尾の行為要求表現が調査対象とされていたが、本調査では、③하오体和④하계体を除いた4つの文末語尾が回答されていたため、調査対象の行為要求表現の待遇形式の組み合わせは、表4のように5つとする。すなわち丁寧体と敬語形の組み合わせである「①합쇼체・敬語形 (Ⅲ)」、②해요체・敬語形 (Ⅲ)、丁寧体と非敬語形の組み合わせである「②해요체・非敬語形 (Ⅱ)」、普通体と非敬語形の組み合わせである「⑤반말체・非敬語形 (Ⅰ)」、⑥해요체・非敬語形 (Ⅰ)の5つである。各行為要求表現には便宜上、記号をつけているが、Cは授受動詞「주다」を示している。各類別を示す記号としては、命令形を0、「肯定疑問類」を1、「否定疑問類」を2、「可能肯定疑問類」を3、「可

「能否定疑問類」を4としている。本稿は、語構成で分類しているため、日韓比較しやすくするため逐語訳を（ ）内に示す。

表4 現代韓国語の行為要求表現の分類

文末語尾	行為要求表現	類別	待遇形式の組み合わせ	記号	
⑥해라体	찍어라. (撮れ)	活用形類 (命令形)	(I) 非敬語形・普通体	I 0	
	찍어주라 (撮ってくれ)	命令類 (クレ形)		I 0	
⑤반말体	찍어 봐. (撮ってみろ)	活用形類 (ミロ形)	(I') 非敬語形・普通体	I '0	
	찍어. (撮れ)	活用形類 (命令形)		I '0	
	찍어줘. (撮ってくれ)	命令類 (クレ形)		I 'C0	
	찍어주겠어? (撮ってくれる?)	未来肯定疑問類		I 'C1	
	찍어줄래? (撮ってくれるつもり?)	意志肯定疑問類		I 'C1	
	찍어주지 않을래? (撮ってこないつもり?)	意志否定疑問類		I 'C2	
	찍어줄 수 있어? (撮ってくれることはできる?)	可能肯定疑問類		I 'C3	
	찍어줄 수 없어? (撮ってこないことはできない?)	可能否定疑問類		I 'C4	
②해요体	찍어줘요? ¹⁾ (撮ってくれますか?)	命令類 (クレマスカ形)	(II) 非敬語形・丁寧体	II C0	
	찍어주겠어요? (撮ってくれますか)	未来肯定疑問類		II C1	
	찍어줄래요? (撮ってくれるつもりですか)	意志肯定疑問類		II C1	
	찍어주지 않을래요? (撮ってこないつもりですか)	意志否定疑問類		II C2	
	찍어줄 수 있어요? (撮ってくれることはできますか)	可能肯定疑問類		II C3	
②해요体	찍어줄 수 없어요? (撮ってこないことはできませんか)	可能否定疑問類	II C4		
	②해요体	찍으세요. (撮りなさい)	命令類 (ナサイ形)	(III) 敬語形・丁寧体	III 0
		찍어주세요. (撮ってください)	命令類 (クダサイ形)		III C0
		찍어주시겠어요? (撮ってくださいますか)	未来肯定疑問類		III C1
		찍어주실래요? (撮ってくださるつもりですか)	意志肯定疑問類		III C1
		찍어주시지 않을래요? (撮ってくださらないつもりですか)	意志否定疑問類		III C2
		찍어주실 수 있어요? (撮ってくださることはできますか)	可能肯定疑問類		III C3
		찍어주실 수 없어요? (撮ってくださることはできませんか)	可能否定疑問類		III C4

①합쇼체	찍어주십시오. (撮ってくださいませ)	命令類 (クダサイマセ形)	(Ⅲ') 敬語形・ 丁寧体	Ⅲ' C0
	찍어주시겠습니까? (撮ってくださいますか?)	意志肯定疑問類		Ⅲ' C1
	찍어주실 수 있습니까? (撮ってくださることはできますか)	可能肯定疑問類		Ⅲ' C3
	찍어주실 수 없습니까? (撮ってくださることはできませんか)	可能否定疑問類		Ⅲ' C4

「ㄹ래／을래」は、1人称主語の場合、話し手の意志を述べる形式であるが、2人称主語の場合、聞き手の意志を問う形式になる。よって、授与動詞「주다」(くれる)に「ㄹ／을래?」を接続させたものは、聞き手の意志を問う行為要求表現であるため、本稿ではこれらの行為要求表現の形式の類別を「意志」とし、「意志肯定疑問類／意志否定疑問類」のように呼んでいく。また、未来を表す補助語幹「ㄹ」を用いた行為要求表現は「ㄹ래?」の「意志」と区別させるため、「未来肯定疑問類／未来否定疑問類」という名称で分類し、分析を行う。「Ⅲ敬語形・丁寧体」の「可能肯定疑問類」には代表例として「찍어주실 수 있어요? (撮ってくださることはできますか)」を上げているが「찍어줄 수 있으세요? (撮ってくれることがおできになりますか)」「찍어주실 수 있으세요? (撮ってくださることがおできになりますか)」といった表現も含まれている。

2.3 日本語と韓国語の待遇表現の運用法

ここでは、上記であげた待遇レベルの異なる形式の一般的な運用法を示す。現在の日本語の場合、目上の人物に対しては上向きの待遇語を使用するが、身内には年上であったとしても使用しないことが一般的である。一方、韓・梅田(2009)は、韓国語の場合、身内であっても目上の人物であれば上向きの待遇語を使用することが通例であると、韓国ドラマのセリフを例にあげ解説している。

例 1

어머니: 아직 안 잤어?

母親: まだ寝てないの?

진우: 내일 시험이잖아요.

チヌ(息子・中学生): あした試験があるじゃない (あるじゃないですか)。

어머니: 시험 전날은 일찍 자야지. 그만하고 얼른 자.

母親: 試験の前日は早く寝ないと。もう勉強やめて早く寝なさい。

진우 : 이번엔 규모도 크구 되게 어렵다던데 . 걱정되서요 .

チヌ : 今度の試験は規模も大きくて、すごく難しいんだって。心配だよ (心配ですよ)。

『江南ママに追いつけ』第1話：息子→母親

例1のとおり、韓・梅田(2009)は、息子チヌのセリフを和訳する際に、敬語の運用に関して現代日本語で自然な意識(丁寧語不使用)をあげたうえで、()の中に直訳(丁寧語使用)を示している。ただし、韓・梅田(2009)は、例1のように中学生の息子から母親に対して敬語を使用するのは非常に礼儀正しい事例であり、一般的には「子ども」の時期には父母に対して敬語は使用しないとし、大学生になると人間関係の幅が広がることから言葉づかいに気を使うようになり、父母に対して言葉づかいを丁寧な形式に変える人が多くなると自身の経験なども踏まえて解説している。同様に祖父母に対する敬語使用は、3～4歳のころから教育する家庭もあるが、最近では同居などで子どもが親密に感じられるときは甘えて敬語を使わないこともあると述べている。

以上、先行研究にもとづき、本稿の研究の枠組みを示し、日韓で対者待遇語の種類、依頼表現に用いられる授受動詞、敬語の運用法に違いがあることを確認した。韓国語の場合、大学生という言葉づかいを改める時期にどの程度言葉づかいの移行が見られるのか、その実態を明らかにする。また、若年層を対象に日本語と韓国語における行為要求表現の動態にどのような違いが見られるかを比較する。

3 日本語における調査

3.1 調査概要

本稿で扱うデータは2013年に若年層を対象に行った行為要求表現に関する自由記述式のアンケート²⁾のデータである。以下に調査概要を示す。

質問項目：「自分の写真を撮ってもらう」という依頼場面において、依頼の相手として設定した「弟/妹」「親しい年下の友人」「親しい年下の先輩」「初対面の年下」「兄姉」「父母」「祖父母」「親しい年上の友人」「親しい年上の先輩」「初対面の年上」「ゼミの担当教授」のそれぞれに対してどのように言うかを記述式で回答。

回答者：若年層³⁾ (1989～1995年生まれ) 51名 (男性13名、女性38名)

調査時期：2013年5月

3.2 調査結果

ここでは、表3をもとにアンケートで得られた行為要求表現に対して、表5のような結果になった。表の左側に回答された行為要求表現の形式、アンケートの実数をカッコ内に示し、それをもとに被調査者全体の何%が回答しているかを%で示している。

本調査では、収集したアンケートの数に男女差があるため性差による分析を対象外とした。被調査者の大部分は関西出身者であるが、地域特有の行為要求表現は回

表5 日本の若年層における行為要求表現の使用実態

待遇形式の 組み合わせ	記号	目下	身内				非身内・親		非身内・疎	
			弟妹				仲の良い 友人	仲の良い 先輩	初対面	
(Ⅰ) 非敬語形・ 普通体	I1	撮って	70%(24)				35%(16)	17%(6)	0%	
	IK0	撮ってくれ	0%				0%	0%	0%	
	IK1	撮ってくれる?	3%(1)				4%(2)	0%	4%(2)	
	IK2	撮ってくれない?	21%(7)				33%(15)	9%(3)	10%(5)	
	IM1	撮ってもらえる?	0%				2%(1)	0%	2%(1)	
	IM2	撮ってもらえない?/もらえん?	0%				0%	0%	0%	
	IM3	撮ってもらってもいい(かな)?	0%				26%(12)	9%(3)	14%(7)	
(Ⅱ) 非敬語形・ 丁寧体	IIK1	撮ってくれます(か)	0%				0%	3%(1)	2%(1)	
	IIK2	撮ってくれません(か)/くれないです	0%				0%	9%(3)	15%(8)	
	IIM1	撮ってもらえます(か)	0%				0%	14%(5)	8%(4)	
	IIIM1	撮ってもらえませんか	0%				0%	0%	6%(3)	
(Ⅲ) 敬語形・ 丁寧体	IIIM3	撮ってもらってもいいですか	0%				0%	18%(7)	21%(11)	
	IIIM3	撮ってもらってもいいですか	0%				0%	3%(1)	10%(5)	
	IIIM1	撮っていただけますか	0%				0%	3%(1)	4%(2)	
	IIIM2	撮っていただけませんか	0%				0%	0%	0%	
	IIIM3	撮っていただいてもいいですか	0%				0%	9%(3)	4%(2)	
	その他		6%(2)				0%	3%(1)	0%	
	合計		100%(34)				100%(46)	100%(35)	100%(51)	
		目上		兄弟	父母	祖父母	仲の良い 友人	仲の良い 先輩	初対面	担当教 員
(Ⅰ) 非敬語形・ 普通体	I1	撮って	67%(19)	78%(40)	62%(31)	20%(10)	0%	0%	0%	0%
	IK0	撮ってくれ	4%(1)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	IK1	撮ってくれる?	4%(1)	4%(2)	4%(2)	0%	0%	0%	0%	0%
	IK2	撮ってくれない?	21%(6)	16%(8)	18%(9)	10%(5)	0%	0%	0%	0%
	IM1	撮ってもらえる?	0%	0%	2%(1)	2%(1)	0%	0%	0%	0%
	IM2	撮ってもらえない?/もらえん?	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	IM3	撮ってもらってもいい(かな)?	4%(1)	2%(1)	14%(7)	18%(9)	0%	0%	0%	0%
(Ⅱ) 非敬語形・ 丁寧体	IIK1	撮ってくれます(か)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	IIK2	撮ってくれません(か)/くれないです	0%	0%	0%	8%(4)	10%(5)	6%(3)	6%(3)	
	IIM1	撮ってもらえます(か)	0%	0%	0%	8%(4)	10%(5)	16%(8)	6%(3)	
	IIIM1	撮ってもらえませんか	0%	0%	0%	2%(1)	8%(4)	12%(6)	16%(7)	
(Ⅲ) 敬語形・ 丁寧体	IIIM3	撮ってもらってもいいですか	0%	0%	0%	16%(8)	42%(21)	22%(11)	28%(13)	
	IIIM3	撮ってもらってもいいですか	0%	0%	0%	16%(8)	26%(13)	8%(4)	8%(4)	
	IIIM1	撮っていただけますか	0%	0%	0%	0%	0%	16%(8)	10%(5)	
	IIIM2	撮っていただけませんか	0%	0%	0%	0%	0%	8%(4)	8%(4)	
	IIIM3	撮っていただいてもいいですか	0%	0%	0%	0%	2%(1)	10%(5)	14%(7)	
	その他		0%	0%	0%	0%	2%(1)	2%(1)	4%(2)	
	合計		100%(28)	100%(51)	100%(50)	100%(48)	100%(50)	100%(50)	100%(50)	

答されていなかったため、地域差の分析も除外する。

なお、アンケートに回答されていた方言の「(して) くれん?」「(して) くれへん?」のような回答については「(して) くない?」に相当する表現であるため、同じ「クレル系否定疑問類・非敬語形・普通体」として分類している。また、「撮ってください?」終助詞「か」を用いない疑問文も同じ「クレル系肯定疑問類・非敬語形・丁寧体」として分類している。また、モラウ系許可求め類には、撮ってもらって(も) いい?、撮ってもらって(も) いいですか、撮ってもらって(も) いいでしょうか、撮ってもらってもよろしいですか、撮っていただいて(も) いいですか、撮っていただいて(も) よろしいでしょうかといった形式が回答されていたが、これらもすべて「モラウ系許可求め類」とした。「撮ってほしい。」「写真お願いします。」のような回答数の少ない表現はその他に分類している。

聞き手が身内である場合、最も多かった表現は「撮って」であった。次に聞き手が親しい非身内の場合を見ていく。仲のよい年下の友人の場合、「撮って」と「撮ってこない?」に回答が多く見られた。仲のよい年上の友人の場合でも「撮って」が最も多く回答され、その次に「撮ってもらって(も) いい?」、そして「撮ってもらって(も) いいですか」が選ばれている。仲のよい先輩の場合、年下年上どちらとも最も多く回答されていたのは、「撮ってもらって(も) いいですか」であった。仲のよい年下の先輩の場合、「撮って」が2番目に多く回答されているが、上下関係よりも親しい関係であることが優先されたため、仲のよい友人の場合のように「撮って」が回答されたと考える。

最後に疎の関係にある非身内の場合を見ていく。年下の初対面の人の場合、「撮ってもらって(も) いいですか」に最も回答が見られ、その次に「撮ってくませんか」が回答されていた。普通体では「撮ってもらって(も) いい?」が多く回答されていたことから、「撮ってもらって(も) いい?」は普通体であっても初対面への使用が許容される表現として捉えられているということがわかった。年上の初対面、ゼミの担当教授の場合、普通体の回答は見られず、敬語形「いただく」を用いた表現よりも「撮ってもらって(も) いいですか」が最も多く回答されていた。

3.3 まとめ

以上、身内を含め、親しい年下の友人と先輩には「撮って」が選ばれやすく、年下年上に関係なく初対面で心的に距離がある場合や親しい先輩、ゼミの担当教授とといった上向きの待遇を使用する相手には形式の長い「撮ってもらって(も) いいで

すか」が選ばれやすいという結果になった。

初対面やゼミの担当教授といった高い待遇の表現を使う相手に対して「撮ってもらって(も)いいですか」が多く回答されていたことからして、若年層にとって「撮ってもらって(も)いいですか」は目上に対して使用しやすい表現として捉えられており、敬語形「いただく」を用いた表現よりも許可を求めるという構文を用いることで丁寧さを表しているのだと考える。

4 韓国語における調査

4.1 調査概要

今回の調査で取り扱うデータは、2012年に若年層を対象に行った行為要求表現に関する自由記述式のアンケートのデータである。調査概要は以下のとおりである。

質問項目：「自分の写真を撮ってもらう」という依頼場面において、依頼の相手として設定した「弟/妹」「親しい年下の友人」「親しい年下の先輩」「初対面の年下」「兄姉」「父母」「祖父母」「親しい年上の友人」「親しい年上の先輩」「初対面の年上」「ゼミの担当教授」のそれぞれに対してどのように言うかを記述式で回答。

回答者：若年層⁴⁾(1985～1994年生まれ) 88名(男性18名、女性65名、無回答5名)

調査時期：2012年9月

4.2 調査結果

では、表4の分類に則って調査の結果を以下の表6に表し、その傾向を述べる。なお、アンケートに回答されていた少数回答の表現(「찍어라(撮れ)」「찍어(撮れ)」「찍어봐(撮ってみろ)」「찍어봐라(撮ってみろ)」「찍어주라(撮ってくれろ)」)はその他に分類した。

まず、身内の場合を見ていく。弟/妹、兄姉の場合「찍어줘(撮ってくれ)」が最も多く回答されていた。父母の場合、49%が「찍어주세요(撮ってください)」と回答していたが、40%が「찍어줘(撮ってくれ)」と回答しており、非敬語形普通体から言葉づかいを改めている割合は全体の約半分だということがわかった。祖父母の場合、父母の場合と同様に「찍어주세요(撮ってください)」が最も多く回答されていたが、「찍어줘(撮ってくれ)」の回答は少数であったため、韓・梅田(2009)

表6 韓国の若年層における行為要求表現の使用実態

待遇形式の 組み合わせ	記号	年下	身内				非身内・親		非身内・疎	
			弟/妹	兄弟	父母	祖父母	仲の良い 友人	仲の良い 先輩	初対面	担当教授
(Ⅰ') 非敬語形・ 普通体	I C0	찍어줘	85%(45)				68%(59)	37%(28)	5%(4)	
	I C1	찍어 줄래?	5%(3)			23%(20)	8%(8)	46%(39)		
	I C2	찍어주지 않을래?	0%			0%	0%	1%(1)		
	I C3	찍어줄 수 있어요?	0%			1%(1)	1%(1)	17%(14)		
(Ⅱ) 非敬語形・ 丁寧体	Ⅱ C0	찍어줘요	0%			0%	6%(6)	0%		
	Ⅱ C1	찍어주겠어요?	0%			0%	0%	0%		
	Ⅱ C3	찍어줄 수 있어요?	0%			0%	4%(3)	2%(2)		
(Ⅲ)敬語形・ 丁寧体	Ⅲ C0	찍어주세요	0%			0%	32%(24)	7%(6)		
	Ⅲ C1	찍어주시겠어요?	0%			0%	0%	5%(4)		
	Ⅲ C1	찍어주실래요?	0%			0%	3%(2)	2%(2)		
	Ⅲ C3	찍어줄 수 있으세요?	0%			0%	0%	0%		
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으니까?	0%			0%	0%	0%		
(Ⅲ') 敬語形・ 丁寧体	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으세요?	0%			0%	0%	2%(2)		
	Ⅲ C0	찍어주십시오	0%			0%	0%	0%		
	Ⅲ C1	찍어주시겠습니까?	0%			0%	0%	0%		
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으니까?	0%			0%	0%	0%		
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으십니까?	0%			0%	0%	0%		
	その他		10%(5)			7%(7)	1%(1)	6%(5)		
	合計		100%(53)			100%(87)	100%(73)	100%(84)		
		年上	兄弟	父母	祖父母	仲良い 友人	仲良い 先輩	初対面	担当教授	
(Ⅰ') 非敬語形・ 普通体	I C0	찍어줘	82%(59)	40%(34)	6%(5)	32%(27)	17%(14)	2%(2)	0%	
	I C1	찍어 줄래?	3%(2)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
	I C2	찍어주지 않을래?	0%	0%	0%	0%	0%	1%(1)	0%	
	I C3	찍어줄 수 있어요?	0%	0%	0%	2%(2)	0%	0%	0%	
(Ⅱ) 非敬語形・ 丁寧体	Ⅱ C0	찍어줘요	0%	4%(3)	0%	16%(14)	20%(17)	1%(1)	0%	
	Ⅱ C1	찍어주겠어요?	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%(1)	
	Ⅱ C3	찍어줄 수 있어요?	0%	0%	0%	1%(1)	0%	0%	0%	
(Ⅲ)敬語形・ 丁寧体	Ⅲ C0	찍어주세요	4%(3)	49%(41)	69%(60)	36%(31)	51%(43)	43%(35)	27%(21)	
	Ⅲ C1	찍어주시겠어요?	0%	0%	3%(3)	0%	0%	10%(8)	12%(9)	
	Ⅲ C1	찍어주실래요?	0%	1%(1)	7%(6)	1%(1)	4%(3)	11%(9)	5%(4)	
	Ⅲ C3	찍어줄 수 있으세요?	0%	0%	0%	1%(1)	0%	4%(3)	0%	
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으니까?	0%	1%(1)	3%(3)	0%	1%(1)	7%(6)	12%(9)	
(Ⅲ') 敬語形・ 丁寧体	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으세요?	0%	0%	5%(4)	0%	0%	12%(10)	22%(17)	
	Ⅲ C0	찍어주십시오	0%	0%	1%(1)	0%	0%	0%	1%	
	Ⅲ C1	찍어주시겠습니까?	0%	1%(1)	2%(2)	0%	0%	0%	8%(6)	
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으니까?	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%(1)	
	Ⅲ C3	찍어주실 수 있으십니까?	0%	0%	0%	0%	1%(1)	0%	1%(1)	
	その他		10%(8)	3%(3)	3%(3)	7%(6)	1%(1)	7%(6)	10%(8)	
	合計		100%(72)	100%(84)	100%(89)	100%(78)	100%(82)	100%(85)	100%(89)	

のとおり祖父母に対して敬語を使用する割合が高いことが確認できた。

続いて、親しい非身内の場合を見ていく。まず、年下の仲の良い友人、年下の仲の良い先輩の場合は、「찍어줘（撮ってくれ）」が最も多く年上には回答されていた。一方、年上の仲の良い友人、年上の仲の良い先輩の場合は、「찍어주세요（撮ってください）」が最も多い回答であった。よって、親しい年下には「찍어줘（撮ってくれ）」が選ばれやすく、年上には「찍어주세요（撮ってください）」が選ばれやすいということがわかった。

最後に疎の関係にある非身内の場合を見ていく。年下の初対面には「찍어 줄래?（撮ってくれるつもり?）」が最も多く選択されており、仲のよい友人や仲のよい先

輩の場合に多く回答された「짚어줘 (撮ってくれ)」は、あまり回答されていなかった。年上の初対面とゼミの担当教授の場合、仲のよい友人や先輩の場合と同様に「짚어주세요 (撮ってください)」に最も回答が多く見られた。

4.3 まとめ

以上、年下の場合、弟/妹、兄姉、仲の良い友人という話し手から見て、高い待遇の表現を使わなくていい相手や父母、仲の良い先輩といった心的に距離が近い相手であるほど「짚어줘 (撮ってくれ)」が使用されるということであった。年下の初対面には「짚어 줄래? (撮ってくれるつもり?)」が選択されていたことから、年下の相手の中でも心的な距離によって表現が使い分けられていることがわかった。

祖父母に対して高い割合で敬語が使用されていたが、これは、父母が祖父母に対して上向き待遇の表現を使っているため、上向き待遇の表現を使うよう父母から教育されたからだと考えられる。

今回の調査では、心的な距離のある初対面、あるいは社会的な地位が上の相手であるゼミの担当教授に対しても「짚어주세요 (撮ってください)」が最も多く使用されるという結果であったが、待遇度の最も高い합全体に対する回答があまり見られなかった理由として、学生のうちは②뉘체体の敬語形・丁寧体を用いた表現が一般的であるため、①합全体を使い分けるほどにまで言葉づかいを変えていないからだと考えられる。

5 日韓における行為要求表現の運用の比較

先行研究で述べたが、日本語の場合、身内に敬語を使うことは一般的ではないが、韓国語の場合は、韓・梅田(2009)のとおり大学生になると言葉づかいを改め、年上の身内に敬語を使うようになるということであった。実態としては、全体の約半分が父母に対する言葉づかいを丁寧な表現に変え、祖父母に対しても敬語の使用の割合は高く、日韓で差異が確認できた。また、年下の初対面に対して、日本の場合は非敬語形丁寧体の表現の中から選択されやすい傾向にあったが、韓国語の場合は、「짚어 줄래? (撮ってくれるつもり?)」に回答が集約されていることから、日本語の場合は親疎関係が敬語使用の判断基準となるが、韓国語の場合は親疎関係よりも年齢による上下関係を優先的な基準にしているといえる。

本稿では、主に若年層における日本語と韓国語の行為要求表現(命令・依頼表現)

の運用を比較するため、それぞれアンケート調査を行い、その差異を見てきた。日本語の場合、身内を含め、親しい年下の友人と先輩には「撮って」が選ばれやすく、年下年上に関係なく初対面で心的に距離がある場合や親しい先輩、ゼミの担当教授といった上向きの待遇を使用する相手には「撮ってもらって(も)いいですか」が選ばれやすいという結果になり、韓国語の場合は親しい相手には「찍어줘 (撮ってくれ)」、目上の相手には「찍어주세요 (撮ってください)」が選択されやすいという結果となった。

日本語の場合、待遇レベルの高い表現のバリエーションとして、受納動詞「もらう」「いただく」を用いた「モラウ系許可求め類」の構文による婉曲的な依頼表現が生じている。一方、韓国語の場合、授与動詞「주다 (くれる)」「주시다 (くださる)」に「ㄷ래?」を用いた「意志肯定疑問類／意志否定疑問類」、「ㄷ」を用いた「未来肯定疑問類／未来否定疑問類」、「可能肯定疑問類／可能否定疑問類」といった表現が使い分けされていた。つまり、敬語の有無によって待遇レベルを変えることに加え、異なる構文によって依頼表現のバリエーションを多様化させ、多様な対人関係に応じてそれらのバリエーションが使い分けられていることが日韓で共通して見られた。

6 おわりに

今回は若年層を対象に「自分の写真を撮ってもらう」という場面で調査を行ったが、この結果が若年層に見られる実態であることを明確にするためにも高年層の調査と比較する必要がある。日本語の場合、「撮ってもらってもいいですか」という「モラウ系許可求め類」の表現は、砂川(2005)が指摘するようにここ数年でよく聞かれるようになった表現で、高年層からは否定的な印象を持たれていることがあり、世代によってその使用頻度に差が表れると考えられる。韓国語の場合、大学生になり言葉づかいを改めるのと同様に社会人になって言葉づかいを変える可能性があるため、高年層ではさらに高い待遇の表現である①躰全体の使用が増加すると考えられる。また、今回は1つの依頼内容に関して相手別にどの表現がどのように使い分けられるのかを調査したが、依頼内容によって表現を使い分けている可能性も考えられる。よって、今後は複数ある行為要求表現がどのような場面において使い分けられているのかを世代別に調査することを課題とする。

注

- 1) 찍어줘요?は疑問文であるため「撮ってくださいか?」となるが、平叙文の場合、찍어줘요.は「撮って 주세요」となるため、本章では찍어주세요? (撮ってくださいか?)と区別するため、命令類に分類した。
- 2) 自由記述式のアンケートでは、制限を設けていないが、複数回答は見られなかった。
- 3) 関西大学学生の協力を得た。出身地は、大阪府 23 名、京都府 2 名、兵庫県 11 名、和歌山県 4 名、愛知県 2 名、石川県 1 名、愛媛県 1 名、岡山県 1 名、香川県 2 名、鳥取県 1 名、福井県 1 名、三重県 2 名。
- 4) 嶺南大学学生の協力を得た。出身地は、慶尚北道 76 名 (うち大邱広域市 57 名)、慶尚南道 7 名 (釜山 1 名)、京畿道 2 名、忠清北道 1 名、済州島 1 名、全羅北道 1 名

参考文献

- 韓美卿・梅田博之 (2009) 『韓国語の敬語入門－テレビドラマで学ぶ日韓の敬語比較』大修館書店
- 李翊燮・李相億・蔡ワン (2004) 『韓国語概論』大修館書店
- 井出里咲子・任榮哲 (2001) 「人と人をつなぐもの－なぜ日本語に授受動詞が多いのか」『言語』30-5
- 岡本真一郎 (1988) 「依頼表現の使い分けの規定因」『愛知学院大学文学部紀要』18
- 荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松 (1990) 「日本語と韓国語の聞き手に対する敬語用法の比較対照」『朝鮮学報』136
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵 (1998) 『敬語表現』大修館書店
- 砂川有里子 (2005) 「ご住所書いてもらっていいですか」北原保雄編『続弾！問題な日本語 何が気になる？ どうして気になる？』大修館書店
- 日本語記述文法研究会 (2009) 『現代日本語文法7 談話・待遇表現』くろしお出版
- 宮地裕 (1995) 「依頼表現の位置」『日本語学』14-10
- 山岡政紀 (2008) 『発話機能論』くろしお出版
- 山田敏弘 (2004) 『日本語のベネファクティブー「てやる」「てくれる」「てもらう」の文法一』明治書院
- 김태엽 (1999) 『우리말의 높임법 연구』대구대학교출판부